

リフレッシュ理科教室決算報告書 (1/2)

(公社)応用物理学会
教育企画委員会 委員長殿

2022 年 9 月 28 日

開催支部または分科会 (支部・分科会以外に共催がある場合はすべてお書きください) : 北陸・信越支部	
開催責任者 (支部長または分科会幹事長) : 大寺 康夫	公印略
開催連絡責任者 : 新保 一成 (新潟大学)	
連絡先 : 〒950-2181 新潟市西区五十嵐二の町 8050 TEL: 025-262-7543 新潟大学自然科学系 (工学部) 新保 一成 E-mail: kshinbo@eng.niigata-u.ac.jp	

下記のとおりご報告いたします。

(全会場分の収支を纏めてご記載, もしくは会場毎収支のご記載, どちらでも問題ありません。
会場毎収支をご報告の場合は当ページを会場数分複製の上, ご報告ください。オンライン会場と
対面実施会場は該当ページを複製し, 分けてご報告ください)

事業名 : リフレッシュ理科教室 授業で使える面白実験 Part15	
リフレッシュ理科教室補助金額 : 161,000 円	
開催日 : 2022 年 8 月 23 日から 2022 年 8 月 23 日まで	
開催場所 : 新潟大学工学部 (〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050)	
決 算 (収入合計と支出合計は同額になります) (単位: 円)	
収 入	支 出
リフレッシュ理科教室補助金 161,000	印刷製本費 107,470 (資料・チラシ作成等)
参加費	賃借料 0 (会場費・プロジェクター等)
広告展示料	会議費 31,050 (弁当代等)
支部分科会からの支援金	通信運搬費 0 (郵送料等)
企業からの協賛金	消耗品費 (実験材料・文具代等) 22,480
助成金 (県・市など)	臨時雇賃金 【支払人数計 名】 0 (アルバイト賃金等)
	諸謝金 【支払人数計 名】 0 (講師謝礼等)
	システム利用料 (ZOOM, Webex 他) 0
	基金への返金 (or 支部・分科会への戻入れ)
合 計 161,000	合 計 161,000

決算報告書は, 支部 (分科会) 会計後 1 か月以内に応物事務局 教育企画委員会担当宛へ
各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください (原本不要で
す)。講師謝礼金やアルバイト代については, 支払人数を必ず記載してください。

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (対面実施形式)

下記のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室 授業で使える面白実験 Part15

開催日： 2022 年 8 月 23 日から 2022 年 8 月 23 日まで

開催場所 (同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください)：
新潟大学工学部 (〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050)

参加者人数 (スタッフ以外の参加者を記述してください)：合計 17 名

内訳	① 児童・生徒：	0	名
	② 保護者・一般：	0	名
	③ 教諭等：	17	名

特記事項 (委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。)

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

コロナウイルス感染拡大防止対策として、コロナ禍以前よりも参加人数を減らし、マスク着用のうえ参加者間の間隔を広げて実施した。内容は、午前にはぶんぶんゴマ発電機の作製、午後に永久ゴマの仕組みと作製、とした。作製を行った後に完成品を用いた実験、およびこれまでの理科教室での作製物や展示物を見学・体験いただいた。さらに、2グループに分かれて新潟大学工学部 工学力教育センターの見学を行った。毎年はんだごてを使った回路製作を体験いただいているが、今年は例年よりも平易なものを二つ作る形とした。参加者のアンケートでは、「余裕をもって作業でき、また実験も楽しめた」という意見が多く、来年度以降の内容検討の際に参考に役立てたい。工学力教育センターの見学については、アンケートに「生徒に進学をすすめたい」という声があり、今後も大学内の特色ある研究室や施設などを取り上げていきたい。



ぶんぶんゴマ発電機の説明



ぶんぶんゴマ発電機



工学力教育センター見学



永久ゴマ

リフレッシュ理科教室実施報告書 (2/2) (オンライン実施形式)

下記のとおりご報告いたします。

事業名：リフレッシュ理科教室　－（副題を記載）－

開催日：　年　月　日から　年　月　日まで

開催場所（同じ場所で複数回開催する場合は、日付も複数日ご記入ください）：

記載例：オンライン会場（ZOOM）、オンライン会場（ZOOM+YouTube）等、（）内にツール名を記載

参加者人数（スタッフ以外の参加者を記述してください）：合計　　名

内訳　① 児童・生徒：　　　　　名

② 保護者・一般：　　　　　名

③ 教諭等：　　　　　名

下記情報がお分かりになる場合は、実施形態に応じて適宜ご教示ください。

PV数（オンデマンドの場合など）：合計　　回，　**送付キット数**：合計　　個，

再生回数（YouTube 動画等の場合）：合計　　回，　**チャンネル登録者数**：合計　　人，

特記事項（委員会での検討や本部への報告書作成のため、各会場の特徴や工夫していることなどについてご記入下さい。）

例：各会場の運営や参加対象などの特徴、教員対象の講演会・講習会、教育委員会との連携、地方公共団体との協力、他の団体との協力など。また、補助金に対する要望事項、他支部でも参考になる事項、良かった点、悪かった点など

応物本会 HP「過去のリフレッシュ理科教室」への掲載事項（以下の①，②から掲載方法をご選択の上，報告事項(写真等を含む)を御記載ください。適宜，理事会にも活動報告をさせていただきます。）

「過去のリフレッシュ理科教室」

https://www.jsap.or.jp/refresh/refresh_past

いずれかに○をご記入ください。

① () 上記ページからリンク先の各支部・分科会 HP にて下段写真等を掲載予定

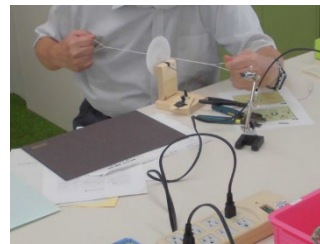
② (○) 上記ページから下段写真等を直接リンク・掲載希望

() ここに掲載する写真等は HP に掲載しても良い内容でお願いいたします。
※肖像権などにご配慮いただき，後ろから撮影した写真等をご利用ください。

新潟地区では、2022年8月23日に新潟大学工学部において小・中学校の先生方を対象にした理科教室「リフレッシュ理科教室 授業で使える面白実験 Part15」を実施しました。ぶんぶんゴマ発電機と永久ゴマの作製と実験、およびこれまでの理科教室での作製物や展示物を見学・体験いただきました。はんだごてを使った電子回路製作は久しぶりという方も多かったです。最後には全員が回路を完成させておられました。これと並行して新潟大学工学部 工学力教育センターにて、工学部学生のものづくりの様子もご覧いただきました。



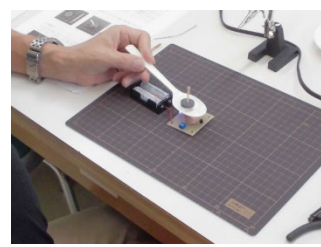
ぶんぶんゴマ発電機の説明



ぶんぶんゴマ発電機



工学力教育センター見学



永久ゴマ

実施報告書は、リフレッシュ理科教室開催後 1か月以内 に**応物事務局 教育企画委員会担当宛**まで各支部長・分科会幹事長に CC で共有の上メール添付 (WORD 形式) にてご提出ください(原本不要です)。